

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	ワークショップ開催事業			事業コード	2108
所属コード	124000	課等名	行政経営課	係名	
課長名	佐藤 聡	担当者名	宍戸 秀樹	内線番号	3843
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード	8
	施策	市民とともに作る行政の実現	コード	3
	基本事業	市民参加の推進	コード	3
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 6 目 自治体経営推進事務 (013-02)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	17 年度	
根拠法令等	盛岡市自治体経営の指針及び実施計画			

(2) 事務事業の概要

市が取組んでいる行政評価システムを市民に理解していただくとともに、市民の声が反映されたより良いシステムへと改善していくため、「成果指標」の設定作業をワークショップ形式により行う。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

第一次行革の取組が開始された平成 16 年度に、行財政構造改革へ市民の意見を反映させることを目的に『市の仕事・市民との協働を考えるワークショップ』を開催。この趣旨を受け継ぎながら、翌 17 年度からは、行政評価システムの成果指標を考える現在の形で実施することとなり、現在に至る。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

行政評価への市民の参画については、各自治体において関心が高まっているところである。そうした中、成果指標を市民とともに考える趣旨のこの事業は、ユニークかつ有効な取組として、他自治体、研究者等から高い評価を得ているところでもあり、このような取組のニーズは拡大傾向にあると思われる。また、この取組も含めた当市の行政評価の取組全般について、平成 22 年 1 月に総務省が発行する『地方行政改革事例集』に優良取組事例として選定された。

平成 23 年度までに、総合計画に掲げる 41 施策のうち、36 施策を対象にワークショップを実施したところであるが、近年は参加者の減少、対象施策にかかる成果指標設定の難しさ等の課題がみられることから、これらの課題に対する改善策を検討する必要がある。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

- ・ 市民
- ・ 行政評価システムの施策の成果指標

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 市民の数	人	297,267	298,148	298,148	298,853	-
B 施策の成果指標数	件	94	96	98	97	-

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

- ・ 開催の告知 (広報, ホームページ, 市内に事務所を置くNPO等への通知, 市民アンケートへのチラシの折込)
- ・ ワークショップの開催
- ・ 成果指標のアイデアの採用可否の検討

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A チラシの配布数 (関係団体への通知を含む)	枚	3,130	3,119	3,120	3,151	-
B ワークショップ開催回数	回	2	2	2	2	-
C ワークショップで出された成果指標のアイデアの数	件	115	121	150	96	-

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

市が取り組んでいる行政評価システムを市民に理解していただくと共に, 市民の声が反映されたより良いシステムへと改善する。

(6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 成果指標として採用された件数 (累計)	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	件	60	65	70	66	-
B ワークショップへの延べ参加者数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	人	39	44	60	34	

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	0	0	0	0
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	0	0	0	0
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	150	300	300	300
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	600	1200	1200	1200
計	トータルコスト A+B	千円	600	1200	1200	1200
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

この事業は、施策の成果を測る指標に市民の意見を直接取り入れるものであり、上位基本事業（市民参加の推進）の意図に直結するものである。

② 市の関与の妥当性

市が、市民から意見を頂戴する場を、積極的に設ける趣旨で実施しているものである。

③ 対象の妥当性

行政評価システムへ市民意見を反映させるという意図からは、対象を成果指標以外の事項に広げることも考えられるが、これまでの取組が一定の成果を得ている点、全41施策について順次実施する当初の計画の進行過程にある点を考慮すれば、当面は現状で妥当である。

④ 廃止・休止の影響

市民参画・市民協働の直接的機会が減ることとなる。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

参加者が増えることにより、行政評価システムへの市民の理解が深まるとともに、多様な意見のもとに活発な議論がなされ、より精度の高い成果指標が設定されることが期待される。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

特定の受益者はいない。

(4) 効率性評価

事業費は、模造紙、ポストイット、サインペン等の消耗品費のみであり、削減の余地はない。人件費は、ワークショップにおいては、職員がグループワークの進行役として張り付いており、現状程度の参加者数がある限り、削減余地はない。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

- ・ 周知方法について
市民アンケート 3,000 名の送付時へのチラシ同封，市民活動支援室へのワークショップ開催案内の掲載依頼等を実施しているものの，参加者は増加していない。引き続き，事業の周知方法などについて検討・見直しを行う。
- ・ 実施方法について
市民とともに成果指標を検討する作業は，市民参画の視点からも非常に有効であると考えられるものの，成果指標の設定が難しいとの指摘もあることから，対応を検討する必要がある。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

- ・ 周知方法について
これまでも，市広報・ホームページでの告知，関係団体への直接の案内のほか，開催日時を休日に設定するなど，参加者を増やすため，様々な工夫をしてきたが，大きな効果は得られていない。地道な広報活動と運営方法についての不断の見直しにより，認知度の向上，参加者の増加を図る。
- ・ 実施方法について
市民からの多数のアイデアをいただくという観点から，過去からの取組の継続性を考慮して，残り 5 施策を対象とするか，市が重点的に取り組むこととしている施策を対象とするかの検討が必要である。また，23 年度においては，対象施策にかかる職員が同席し，事業の説明や質疑への対応を行うなど，対象施策に対する参加者の理解が図られたものと思慮されることから，今後も引き続き担当職員の参加を求めるなど，成果指標のアイデアを出しやすい環境作りを図る。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

当該事業は，市民との協働事業の推進に資するものであり，継続して実施することで，市にとっては市民意見の把握が可能となり，市民にとっては行政評価システムや対象施策に対する理解も深まると考えられるが，周知方法を工夫しているものの参加者の増加には結びついていない。成果指標を考える，というテーマに難しさを感じる市民も多いと思われることから，事務事業の意図である「市民意見の行政評価システムへの反映」に立ち返り，改善を検討すべきものとする。